

令和4年3月の手引き改正に伴う漢方薬攻略テキストの改定部分

追記部分: 赤字、削除部分: 黄色い強調線

1. 漢方薬について

ポイント 大きく変わったものは、桂枝加苓朮附湯の効能効果が追記されたことと、麻杏甘石湯、神秘湯、当帰飲子の体力が変更になったところです（以上の漢方薬は太字にしています）。

ページ数	改正の内容
8ページ (c)腸間膜静脈硬化症	腸間膜静脈硬化症を起こす恐れのある漢方薬に、防風通聖散と清上防風湯が追加された。
14ページ 桂枝加苓朮附湯	効能効果が追加された。 改正後: 体力虚弱で、手足が冷えてこわばり、尿量が少なく、ときに動悸、めまい、筋肉のびくつきがあるものの関節痛、神経痛に適すとされる。 「びくつき」という言葉をキーワードにして覚えるとよい。桂枝加朮附湯は変更がないため、混乱しないように注意すること。
14ページ 麻杏薏甘湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度なもので、関節痛、神経痛、筋肉痛、いぼ、手足のあれ(手足の湿疹・皮膚炎)に適すとされる
15ページ 疎経活血湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度で、(読点の追加)痛みがあり、ときにしびれがあるものの関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛に適すとされる
15ページ 当帰四逆加呉茱萸生姜湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、手足の冷えを感じ、下肢の冷えが強く、下肢又は下腹部が痛くなりやすいものの冷え症、しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛腰痛、下腹部痛、頭痛、しもやけ、下痢、月経痛に適すとされる。
17ページ 半夏厚朴湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度をめやすとして、幅広く応用できる。気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う不安神経症、神経性胃炎、つわり、咳、しわがれ声、のどのつかえ感に適すとされる。
18ページ 柴朴湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度で、気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、かぜをひきやすく、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴うものの小児喘息、気管支喘息、気管支炎、咳、不安神経症、虚弱体質に適すとされるが、むくみの症状のある人等には不向きとされる。 また、上記症状における虚弱体質改善にも用いられる。
18ページ 麻杏甘石湯	体力が変更されたが、本書に影響はない。 改正後: 体力中等度あるいはそれ以上で、咳が出て、ときにのどが渇くものの咳、小児喘息、気管支喘息、気管支炎、感冒、痔の痛みに用いられる。
19ページ 神秘湯	体力が変更された。 改正後: 体力中等度あるいはそれ以上で、咳、喘鳴、息苦しさがあり、痰が少ないものの小児喘息、気管支喘息、気管支炎に用いられるが、いずれも胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人等には不向きとされる。
20ページ 甘草湯	効能効果が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後: 構成生薬がカンゾウのみからなる漢方処方製剤で、体力に関わらず使用広く応用でき、激しい咳、咽喉痛、口内炎、しわがれ声に、外用では痔・脱肛の痛みに用いられる。
20ページ 桔梗湯	効能効果が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後: 体力に関わらず使用広く応用できる。喉が腫れて痛み、ときに咳がでるものの扁桃炎、扁桃周囲炎に適すとされる。
21ページ	効能効果が一部変更されたが、本書に影響はない。

駆風解毒散 (湯)	改正後: 体力に関わらず 使用でき 、喉が腫れて痛む扁桃炎、扁桃周囲炎に適すとされる。
22ページ 響声破笛丸	効能効果が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後: 体力に関わらず 使用広く応用 でき、しわがれ声、咽喉不快に適すとされる。
22ページ 安中散	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、腹部は 力がなくて筋肉が弛緩する傾向にあり 、胃痛又は腹痛があつて、ときに胸やけや、げっぷ、 胃もたれ 、食欲不振、吐きけ、 嘔吐 などを伴うものの神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱に適すとされる。
23ページ 平胃散	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以上で、胃がもたれて消化が悪く、ときに吐きけ、食後に腹が鳴って下痢の傾向のある もの人 における食べすぎによる胃のもたれ、急・慢性胃炎、消化不良、食欲不振に適すとされる。
24ページ 桂枝加芍薬湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、腹部膨満感のある もの人 のしぶり腹、腹痛、下痢、便秘に適すとされる。
25ページ 大黄甘草湯	効能効果が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後: 体力に関わらず 使用できる 。 広く応用され 、便秘、便秘に伴う頭重、のぼせ、湿疹・皮膚炎、ふきでもの(にきび)、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、腸内異常発酵、痔などの症状の緩和に適すとされる。
26ページ 麻子仁丸	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、ときに便が硬く塊状なものの便秘、便秘に伴う頭重、のぼせ、湿疹・皮膚炎、ふきでもの(にきび)、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、腸内異常発酵、 痔などの症状 の緩和に適すとされる。
26ページ 乙字湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以上で、大便が かた硬く 、便秘傾向のあるものの痔核(いぼ痔)、切れ痔、便秘、軽度の脱肛に適すとされる。
27ページ 芎帰膠艾湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で冷え症で、出血傾向があり胃腸障害のないものの痔出血、貧血、月経異常・ 月経過多 ・不正出血、皮下出血に適すとされる。 なお、「ポイント」の当帰飲子のところに、「手引きの記載は「中等度」だが、一般的には「中等度以下」である。」と記載があるが、今回の改正で、当帰飲子の体力は「中等度以下」に修正された。
30ページ 桂枝加竜骨牡蛎湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で疲れやすく、 神経過敏 で、興奮しやすいものの神経質、不眠症、小児夜なき、夜尿症、眼精疲労、神経症に適すとされる。
31ページ 抑肝散	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度をめやすとして、 幅広く用いることができる 。神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症(神経過敏)、歯ぎしり、更年期障害、血の道症に適すとされる。
32ページ 八味地黄丸	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿でときに口渴があるものの下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、痒み、排尿困難、 残尿感 、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善(肩こり、頭重、耳鳴り)、 軽い尿漏れ に適すとされる。
33ページ 猪苓湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力に関わらず 使用でき 、排尿異常があり、ときに口が渇くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。
34ページ 温経湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以下で、手足がはてり、唇が乾くものの月経不順、月経困難、こしけ(おりもの)、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれ(手の湿疹・皮膚炎)に適すとされる。
38ページ 当帰芍薬散	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力虚弱で、冷え症で貧血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭重、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい・立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り、 低血圧 に適すとされる。
42ページ 茵陳蒿湯	効能効果が一部変更された。 改正後: 体力中等度以上で、口渴があり、尿量少なく、便秘するものの蕁麻疹、口内炎、 湿疹・皮膚炎 、皮膚の痒みに適すとされる

40ページ 当帰飲子	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力中等度以下で、冷え症で、皮膚が乾燥するものの湿疹・皮膚炎(分泌物の少ないもの)、痒みに適すとされるが、胃腸が弱く下痢をしやすい人では、胃部不快感、腹痛等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。</p>
40ページ 荊芥連翹湯	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力中等度以上で、皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの蓄膿症(副鼻腔炎)、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきびに適すとされる。</p>
41ページ 葛根湯加川芎 辛夷	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 比較的体力があるものの鼻づまり、蓄膿症(副鼻腔炎)、慢性鼻炎に適すとされる。</p>
41ページ 辛夷清肺湯	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力中等度以上で、濃い鼻汁が出て、ときに熱感を伴うものの鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症(副鼻腔炎)に適すとされる。</p>
42ページ 十全大補湯	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力虚弱なものの病後・術後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ寝汗、手足の冷え、貧血に適すとされるが、胃腸の弱い人では、胃部不快感の副作用が現れやすい等、不向きとされる。</p>
43ページ 補中益気湯	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力虚弱で、元気がなく、胃腸の働きが衰えて、疲れやすいものの虚弱体質、疲労倦怠、病後・術後の衰弱、食欲不振、ねあせ寝汗、感冒に適すとされる。</p>
44ページ 防已黄耆湯	<p>効能効果が一部変更された。</p> <p>改正後: 体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節の腫れや痛み痛、むくみ、多汗症、肥満症(筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり)に適すとされる。</p>
44ページ 防風通聖散	<p>効能効果が一部変更となり、重篤な副作用が一部追加された。</p> <p>改正後: 体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの的高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症(副鼻腔炎)、湿疹・皮膚炎、ふきでもの(にきび)、肥満症に適すとされる。まれに重篤な副作用として肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症、腸間膜静脈硬化症が起こることが知られている。</p>
45ページ 清上防風湯	<p>重篤な副作用が一部追加された。</p> <p>改正後: まれに重篤な副作用として肝機能障害、偽アルドステロン症、腸間膜静脈硬化症が起こることが知られている。</p>

1. 生薬について

ポイント☞ 基原の表記がラテン名表記に変わったものが多数です。また、センソは頻出の生薬ですが、基原が「シナヒキガエル等の毒腺の分泌物」から「アジアヒキガエル等の耳腺の分泌物」になりました。

ページ数	改正の内容
48ページ センソ	基原が一部変更された。 改正後:ヒキガエル科の アジアシナヒキガエル 等の 耳毒腺 の分泌物を集めたもの。
48ページ ロクジョウ	基原が一部変更された。 改正後:シカ科の <i>Cervus nippon Temminck</i> , <i>Cervus elaphus Linné</i> , <i>Cervus canadensis Erxleben</i> 又は その他同属動物の雄鹿の角化していないマンシュウアカジカ又はマンシュウジカの雄のまだ角化していない、若しくは、わずかに角化した幼角。
48ページ コウカ	基原が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後:キク科のベニバナの管状花をそのまま又は黄色色素の大部分を除いたもので、ときに 圧搾 して板状としたもの。
48ページ インヨウカク	基原が一部変更された。 改正後:メギ科の キバナイカリソウ、イカリソウ、Epimedium brevicornu Maximowicz、Epimedium wushanense T. S. Ying、ホザキイカリソウ又はトキワイカリソウエピメディウム・プレビコルヌム、ホザキイカリソウ、キバナイカリソウ、イカリソウ、トキワイカリソウ等の地上部。
49ページ オウバク	基原が一部変更された。 改正後:ミカン科のキハダ又は <i>Phellodendron chinense Schneider</i> フェロデンドロン・キネンセ の周皮を除いた樹皮。
49ページ オウレン	基原が一部変更された。 改正後:キンポウゲ科のオウレン、 <i>Coptis chinensis Franchet</i> , <i>Coptis deltoidea C.Y. Cheng et Hsiao</i> 又は <i>Coptis teeta Wallich</i> コプティス・キネンシス、コプティス・デルトイデア又はコプティス・テータ の根をほとんど除いた根茎。
49ページ ユウタン	基原が一部変更された。 改正後:クマ科の <i>Ursus arctos Linné</i> 又は ヒダマ その他近縁動物の胆汁を乾燥したもの。
49ページ ケイヒ	基原が一部変更された。 改正後:クスノキ科の <i>Cinnamomum cassia J. Presl</i> シンナモムム・カッシア の樹皮又は周皮の一部を除いた樹皮。
52ページ チョウトウコウ	基原が一部変更された。 改正後:アカネ科のカギカズラ、 <i>Uncaria sinensis Haviland</i> 又は <i>Uncaria macrophylla Wallich</i> ウンカリア・シネンシス又はウンカリア・マクロフィラ の通例とげ。
52ページ サイシン	基原が一部変更された。 改正後:ウマノスズクサ科の ウスバサイシン 又は ケイリンサイシン 又は ウスバサイシン の根及び根茎。
52ページ サンシシ	基原が一部変更されたが、本書に影響はない。 改正後:アカネ科のクチナシの 果実 で、ときには 湯通し 又は 蒸したもの 。